

亀有信用金庫本部本店



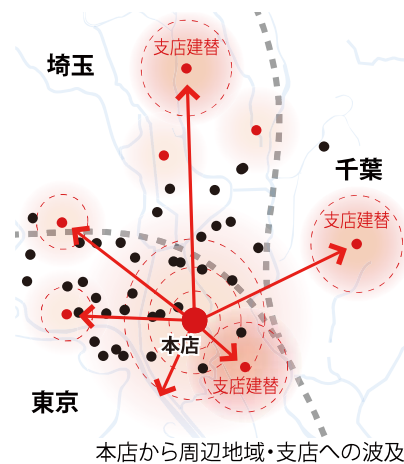
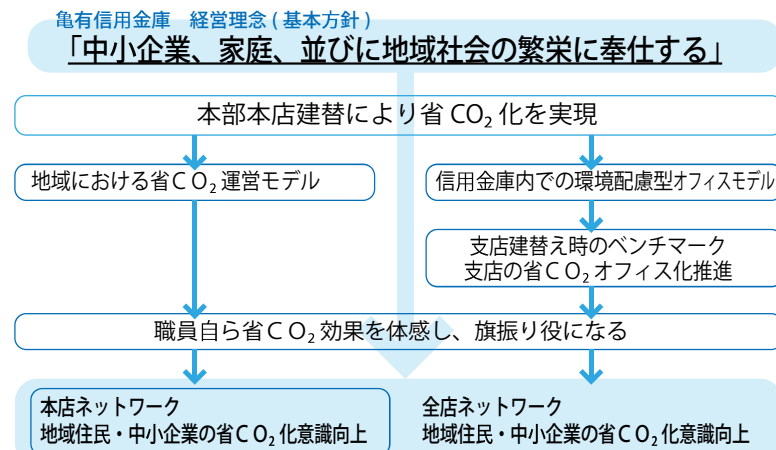
[建築概要]

住 所：東京都葛飾区亀有 3-13-1	構 造：鉄骨造、地下 RC 造	設 計 者：株式会社石本建築事務所
敷地面積：1,136.1 m ²	規 模：地下 1 階、地上 8 階	施 工 者：清水建設株式会社 東京支店
延床面積：5,629.8 m ²	建 築 主：亀有信用金庫	竣工予定：平成 27 年 11 月（一期工事）
用 途：事務所		平成 28 年 6 月（二期工事）

亀有信用金庫の役割 / 城東地域を中心とする地域ネットワークを活かした省 CO₂ 化の旗振り役

亀有信用金庫は「中小企業、家庭並びに地域社会の繁栄に奉仕する」ことを経営の基本として創業以来、地域の皆様とともに歩んでまいりました。私たちは本部本店建替えを地域における省 CO₂ 化を推進する機会として位置づけております。職員自らがその効果を体感し地域における省 CO₂ 化の旗振り役になり、実際に来店し体感していただくことなど、さまざまなコミュニケーションを通して、地域住民、中小事業者への働きかけを積極的に行ない、省 CO₂ 化の普及、波及に努めます。

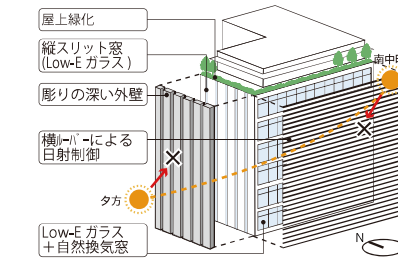
また本計画を信用金庫全体での環境配慮型オフィス推進のモデルと位置づけ、今後進めていく支店建替え時にも省 CO₂ 化を積極的に進めていくとともに、より多くの地域の皆様、事業者へアピールし、省 CO₂ 化を広げてまいります。



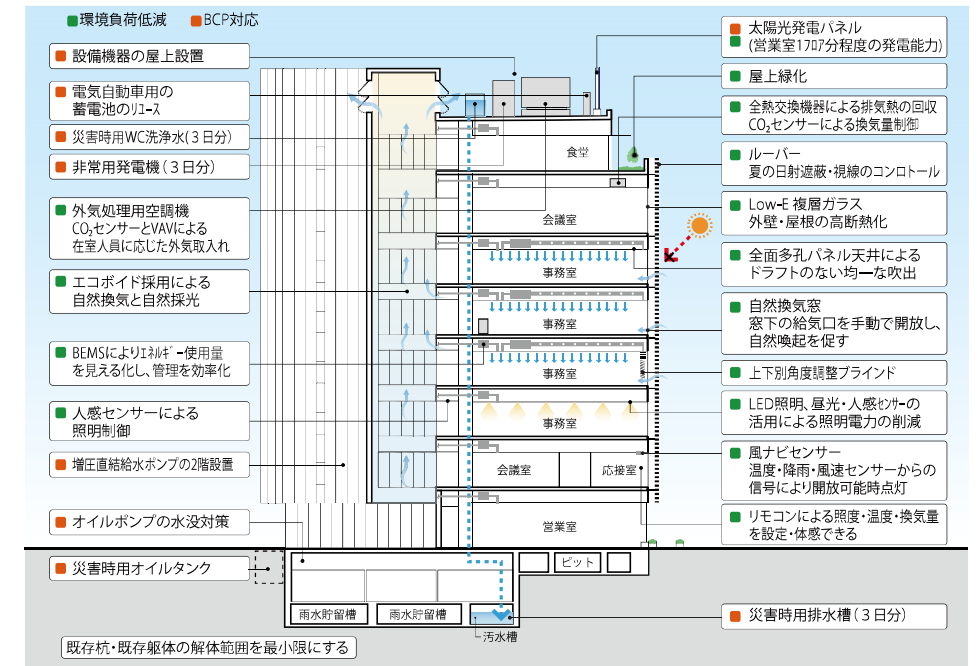
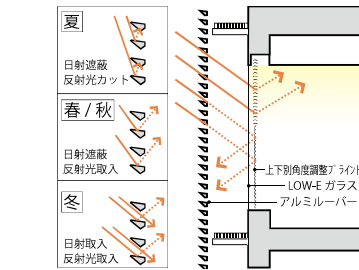
中小規模事務所ビルの省 CO₂ / BCP のモデルとなると同時に 地域に普及・波及しやすい技術の導入・展開

中小規模の事務所ビルの省 CO₂ 及び BCP のモデルビルとなることを目指すと同時に既にある技術を工夫する、あるいは組み合わせることで、省 CO₂ 技術の地域・社会への普及・波及しやすさにも考慮します。

■ 方位に合わせた開口計画の徹底



■ アルミ製横ルーバー + Low-E ガラスによる日射制御



「見せる」「見える」「決める」による「エコ・コミュニケーション」の仕組み

新築建物を活用し、顧客・職員に省 CO₂ 技術や環境を「見せる」、建物内の省エネ効果を「見える」化し、省エネ環境を自分で「決める」ことを通して様々なかたちで省 CO₂ を体感できる「エコ・コミュニケーション」を推進します。エネルギー管理システム (BEMS 装置、環境設定統合リモコン) やエコサインなどを導入し、職員にも来客にもわかりやすく使いやすい「見せる」「見える」「決める」ための仕組みとします。



BCP 計画とともに「まちの BCP 計画」(DCP) 提案による地域への貢献

信用金庫本部本店として災害時の機能維持を図るべく、建物としての安全性向上を図りつつ、一定期間エネルギーの自立的確保とインフラ中断への備えを行います。また地域と密着した金融機関として、単に一企業としての BCP に留まるのではなく、まちの BCP である DCP (District Continuity Plan) にも貢献すべく、可能な範囲で建物機能を開放します。これにより日常の経済活動だけでなく、災害時にも地域とつながり、助け合うことで、地域コミュニティの一員として行動します。

